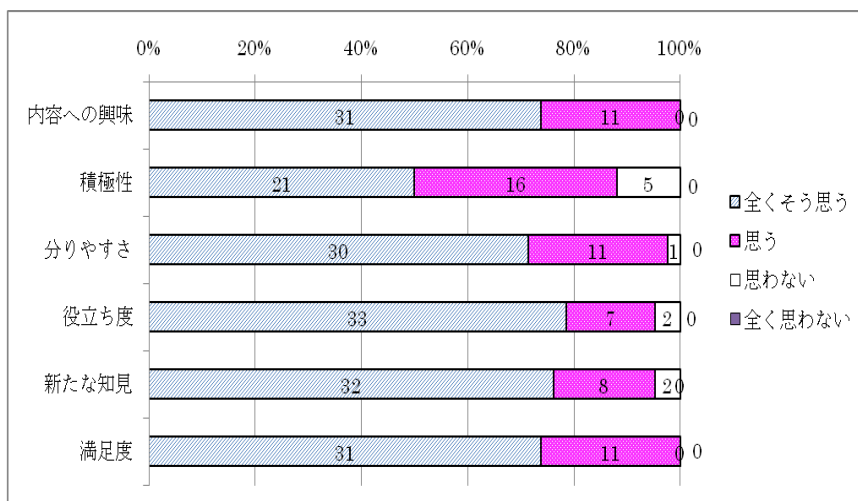


「子どもの SOS を受け止めるには」

講師 臨床心理士 高戸 宣人



印象に残っていることや感想など

- ・心の中に大人が住んでいれば、安心して成長を引き上げてくれる、救われる…という高戸先生の言葉に感動しました。
- ・子どものSOSをしっかり受け止める目を常に持てるようにしたいと思いました。
- ・親や保護者の言い分を聞けるスキルをもっていたいと思いました。
- ・「しつけ」の行き過ぎは虐待、しなさ過ぎても甘やかし。どちらも最近増えていると言われるので、やはり子育ては一つじゃないにしろ、基準になるような道を示してもらう必要があると感じる。
- ・虐待に関しては、地域のつながりを大事に、早期発見に努められればと思います。
- ・ネグレクトと思われる子どもがいます。親にはなかなか声がかかりません。私がしてあげられることは、ここへきたら安心だという居場所を作ってあげることだと思っています。今日のお話から、そのことも大切なことだと確信しました。
- ・身近に虐待を感じないままにきたが、自分からどんどん勉強していきたいと思っています。
- ・虐待をされると、子どもにも影響する。名前を覚えてあげると見守られて安心感がある。
- ・地域のネットワーク作りをすることは、虐待を少なくすることにもつながる。
- ・今育児中で、しつけと思ってやっていることも、気分や起源によりしつけと虐待の境が分からなく、不安になることがある。
- ・虐待をあまり考えたことがなかったので、勉強になりました。
- ・地域で協力し合って子育てをしていく大切さを知ることができた。まずできることは、声をかけることだと思うので、地域の人に積極的に声をかけていきたい。(多数)
- ・安らぎの場である家庭が、戦場…という言葉は、悲しいことですが、虐待の実態を分かりやすく表現していると思いました。
- ・地域の人と人、子どもをつなげる役割、みんなで見守る地域での子育てが大切。

- ・人間としての感情を持って対応する。納得はできるがそれぞれの危機感が違うので難しい。職員同士のコミュニケーションも大事になってくる。子育て支援の場などに出てこない家庭の方が心配。
- ・虐待を見つけた時の対応が、職場で具体的に決めてはいないので、対策をしたいと思う。
- ・地域で子どもたちを見守り、育てる。「おせっかい」な大人が増えるといいなと思う。
- ・名前を知らない草は雑草と同じ。おせっかいを恐れない。(多数)
- ・なぜ虐待するのかと分かりませんでした。高戸先生のお話でなんとなく分かりました。
- ・人間関係が希薄になってきている中、地域の子どもは地域で育てるという意識を浸透させていく一つの核になりたいと思う。
- ・虐待という言葉は聞いていたが、実際に詳しい内容、対策は分らなかったのが講座を受けて良かった
- ・もっと途中で質問を受けるなど、一方的に話を進めるのではなく、所々で内容が良いので、もっとディスカッションをしたいと思いました。
- ・虐待は親が限界にきたSOS。地域との接触（わが町の子はわが町で）で克服できる。
- ・放課後子ども教室の役割が実感できました。遠巻きの見守りが多い中、おせっかいを恐れない大人が多くなれば、と思いました。
- ・数年前より社会状況が悪くなり、親たちも大人も子ども（特に中学生）も疲れ切っていることが分かり、悲しくなりました。貧困も相当ひどいものです…
- ・対応の仕方や私たちにできること等、虐待に対しての知識を深めることができました。
- ・虐待は自身の育ってきた環境が大きく影響する、ということを改めて学んだ。
- ・とても難しいことだけど、決して目をそむけてはいけないと思いました。
- ・地域に親身になってくれる人がいる、虐待防止に役立つのであればよいと思いました。
- ・やはり虐待は子どもの心に大きな傷を作ってしまうので、とても切ないこと。だが虐待をしてしまう側にも何らかの心の傷もあるので、とても難しい問題だなと感じました。
- ・協議会の特徴、対応する時の考え方が分かり大変良かったと思います。
- ・子育てに地域の関わりが大切ということが改めて勉強になりました。
- ・子どものSOSのサインは見逃してはならないし、親のサインも見逃してはならない。
- ・やはり地域で孤立させないような支援体制が必要なことだと感じました。
- ・今自分自身のおかれる立場として、子どもに愛情をもって接してあげること、来てくれた親子が居心地の良い場・楽しめる場をこれからも提供していけたらと思います。
- ・親になる資格を養うという言葉に感銘を受けた。
- ・近年は、お金の問題からも虐待につながる割合が増えていることを残念に思いました。
- ・ひどい親ではすませられない、親も同じ思いで育てているケースが多いということで、子どもばかりでなく親も子もこれでよいと思える道を見つけていけるとよいと思います。
- ・虐待は子どもだけの問題ではなく、親の環境など全体を捉えなくてはいけないということが良く分かった。
- ・講座がいつも金曜日なのですが、園の行事と重なることが多く、他の曜日の日があるのも良い。
- ・しつけと虐待の境界線が非常に難しいと思った。